

はいすい見張り版

July

6周年記念企画

追跡！ 有機系廃液はどこへ行く！？

～有機系廃液処理工場 見学記 (2)～

先月号に引き続き、有機廃液処理工場の見学記をお届けします。一時保管用のタンクに投入された廃液は、必要に応じて油水分離やpHの調節が行われた後、いよいよ焼却施設へと送られます(写真1)。



写真1

廃液は、ロータリーキルン、ストーカー炉と呼ばれる巨大な燃焼炉で焼却処理されます(写真2)。廃液の種類や燃えやすさなどを考慮しながら、炉内に投入していきます。ダイオキシン類の発生を抑制するため、炉内の温度は常に900度以上に保たれているそうです。



写真2

燃焼施設の状態は、監視室で常時監視されています。監視室にはたくさんのモニターや計器が並び、炉内の温度や流速、各種装置の稼働状態はもちろんのこと、NOx、SOx、COといった環境に負荷を与えるガスの排

出量なども、常時監視されていました(写真3, 4)。



写真3

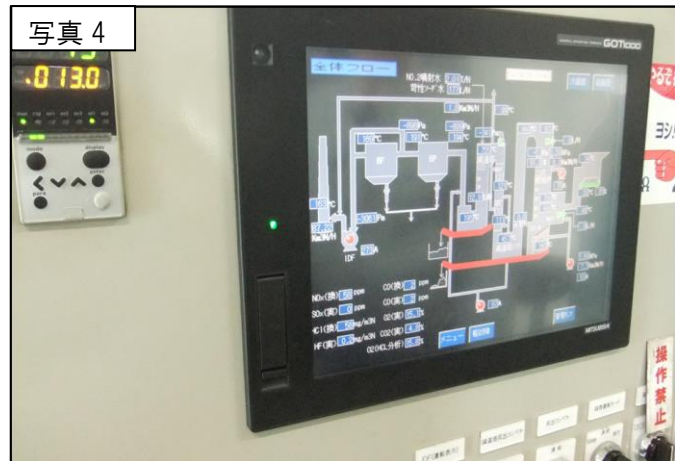


写真4

さらに、燃焼処理後の排ガスは、電気集塵機とバグフィルターによって、徹底的に有害物質を除去してから大気中に放出されます(写真5)。このようにして、山口大学から排出された有機廃液は、安全かつ適正に処理されているのです。

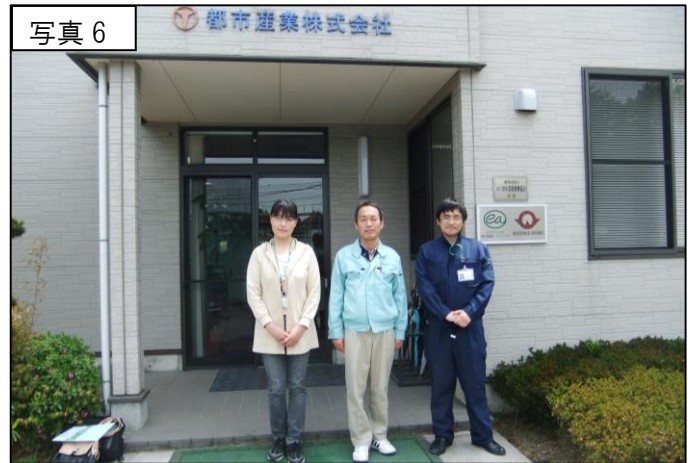


写真5

さらに、処理工場では、焼却によって発生した熱を有効に利用したり(サーマルリサイクル)、炉の冷却水

を専用のため池に貯留して再利用する（クローズドシステム）など、十分な環境配慮が行われていました。

山口大学では、廃液の分別や内容の表記などを皆さまにお願いしています。これは、環境に負荷をかけず、安全かつ適正に廃液を処理することにもつながります。「決まりだから」ではなく、正しい分別が環境を守るという意識を持って、廃液を扱っていただきたいと思えます。最後に、お忙しい中、案内して下さったスタッフさん、お仕事の手を止めて説明して下さった作業員の方々、本当にありがとうございました！（写真6）



☀️ pH 異常発生回数 2014年6月分結果発表

6月中には、吉田地区の農学部解剖棟と小串地区の基礎研究棟で各2回の、合計4回のpH異常が発生しました。常盤地区では、異常の発生はありませんでした。小串地区の基礎研究棟では、4月以来、3か月連続でpH異常が発生しています。いずれも月の月上旬に発生し

ており、pH値も発生パターンも似通っています。該当の建物に居られる皆さま、何かお心当たりはありますか？ 定期的に行っている排水作業や、機器類からの洗浄水なども、pH異常の原因となることがあります。今一度、手順を確認していただくようお願いします。

吉田地区			常盤地区			小串地区		
建物名	6月(回)	年度計(回)	建物名	6月(回)	年度計(回)	建物名	6月(回)	年度計(回)
農学部本館	0	0	工学部本館	0	0	臨床研究棟	0	0
総合研究棟	0	1	共同研究開発棟	0	0	臨床実験研究棟	0	0
農・解剖棟	2	2	先端研究棟	0	3	基礎研究棟	2	4
理・3号館	0	3	ビジネス・I棟	0	0	医学部本館	0	0
理学部本館	0	0	電気電子棟	0	0	共同研究棟	0	0
教育学部	0	0	総合研究棟	0	0	総合研究棟	0	0
共通教育棟	0	0	環境共生系棟	0	0	保健学科棟	0	0
排水処理施設	0	0						
動物医療C	0	1						
吉田地区合計		7	常盤地区合計		3	小串地区合計		2

☀️ 7月の廃液回収情報

- ◇ 7月 7日(月) 13:30 ~ 14:30 吉田地区 無機系・写真廃液回収(於:排水処理施設前)
- ◇ 7月 8日(火) 10:00 ~ 11:00 常盤地区 無機系・写真廃液回収(於:小串地区廃棄物倉庫前)
- ◇ 7月 18日(金) 14:00 ~ 15:00 小串地区 廃液回収(於:小串地区廃棄物倉庫前)

山口大学 大学研究推進機構 総合科学実験センター 排水処理施設

TEL: 083-933-5137(内線:5137 & 6137), 0836-85-3064(内線:3064)

E-mail: haisui@yamaguchi-u.ac.jp

URL: http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~haisui/index_j.html

排水処理施設および『はいすい見張り版』へのご意見・ご感想をお待ちしております・・・